

日本一の山「富士山」。頂上をめざす人も多いのですが、われわれ7名のグループ(子富士会)は、毎年1～2回富士山の中腹散歩を楽しんでいます。

富士あざみラインの入口にある旅館「扇屋」を起点に(メンバーの実家)須走口新5合目に登り(車) 春は木の芽取り、幻の滝の見学、秋は紅葉、きのこ狩、子富士への散歩、夜の星空観賞等が主な活動です。

5合目駐車場から真横に歩くこと40分位で大変眺望の良い、子富士という場所にです。

途中の森林限界の中の遊歩道はうっそうとした木々ばかりで変化がありませんが、林床に貴重な高山植物を見る事ができ、標高2000mの大自然を満喫できます。鳥の声を聞きながら進むと急に開けここから見上げる富士山頂上は格別です。

きのこ狩はここまでのコースの途中で楽しめます。採ったきのこは、頼めば駐車場横の山小屋の名物おばあさんが鑑定選別してくれます。

子富士の直下に高さ数十メートルにも及ぶ火山灰の堆積層が雪解けの際の泥流によって侵食された深い断崖を見ることが出来ます。その形状から富士のグランドキャニオンとよばれています。この火山灰の断層は富士山の噴火活動のすざを教えてください圧倒されます。

現在は崩落の危険がある為、立ち入り禁止になっています。

駐車場から子富士と反対側に歩くこと30分くらいで「幻の滝」を見られることがあります。

富士山には川がありません。川のない富士山に5月中旬から6月上旬にかけ滝が出現します。標高2300m付近で、時間は昼ごろが一番水量が多く見頃です。

富士山は砂礫地帯がほとんどで水はすぐにしみ込んでしまい

ますがここは溶岩が表層に層を作っている為に水はしみ込まないで流れている特異な場所です。

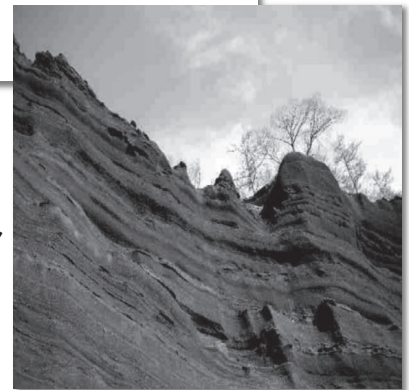
「幻の滝」は溶岩が削られた谷に雪解け水が流れる様子が滝のように見えること、雪解けの時期だけに現れる滝、雪解け水なので天気、気温、時間により水量も変わり日没後には消えてしまい、なかなか見ることが出来ないことから「幻の滝」とよばれています。

道中足場があまり良くないですが、ところどころロープ及び白のペンキで印があり迷うことは無いと思います。

軽装でいけますのでぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。



収穫したきのこ



グランドキャニオン



小富士



幻の滝